

奥州市の地域見守り支援は大丈夫か

質問 新潟県妙高市では、住民、民生委員、社会福祉協議会、行政が「見守りネットワーク」をつくり、本人の了解を得て日々の交流を「活動記録」に記録し、地域の人々たちが支援しているが、奥州市の場合はどうか。

市長 民生委員の見守り活動に加えて、社会福祉協議会へ委託して見守りや声かけ、お手伝いをする「にこにこネット」を実施している。平成26年度は、見守られ2769件、見守り5351人、緊急連絡カード3805件となっている。また、民間64事業者の協力により気になる状況を発見した場合に、情報を提供していただく「みまもりおーネット」を実施している。さらに、近隣住民が気づき、ともに支え合う地域の実



たかはし まさひろ 高橋 政一 議員(市民クラブ)

家庭教育支援はどうか

現と持続をめざす。

質問 多くの保護者が、悩みや不安を抱えながら子育てを行っている。子育て経験者、教員OB、PTA、民生委員、臨床心理士などで構成される、家庭教育支援のための「子育て支援チーム」をつくる考えはないか。

市長 保育所や学校の先生に相談できない未就学の子どもを抱える保護者に対し、市内11カ所で「地域子育て支援拠点事業」を実施している。子育て総合支援センターでは、専門員が電話や来所、保育所や学校への訪問で相談活動をしている。保健師や助産師による「乳児家庭全戸訪問」も実施している。これらの活動を継続し、関係機関との連携を図り、家庭教育支援のさらなる充実に努めていく。



奥州市子育て支援センター (いすみ保育園内)

教育行政「重点施策・いじめ対策」は

教育委員長 メールのやり取りにより問題になった者が対面して会話することと解決された例もある。メール通信の現状は。

質問 最近、家族や友人間での顔を見て会話することが少なくなっている。聞くが、児童生徒のコミュニケーションの現状は。

教育委員長 昨年度「学校いじめ防止基本方針」をすべての学校が策定。スマホ・携帯などのメディア利用ルール作りを胆江地区中学校生徒会連合会で生徒自身に取り組んでいる。

質問 教育行政の重点施策は。教育委員会は、たくましく生きる力、人間関係力を一番大事にしたい。就学前教育の充実にも取り組む。



奥州万年の森 (前沢区)

では3割程度の理解しかされないと、ある講師が話している。言語活動は重要でコミュニケーションは大切なことと考えている。

万年の森の残土処理は

質問 残土処理はなぜ今になったのか。市民はこのことについて説明を求めている。

市長 残土処理に関しては最終処分場の覆土、公共用事業の活用を考えて善意を持って受け入れた。市民からの声は私の耳にも入っている。責任を感じている。今後検証組織を立ち上げ事件発生の経緯、問題点などを明らかにしていく。

質問 公募要領では、「土地の貸し付けは現況のまま、事業に伴う必要措置は事業者において実施」「設置、運営事業にかかる費用は全て事業者負担」とある。市で経費負担の必要はないと理解されると思うが。

市長 計画段階ではそうであったが、実施設計の協議の中で決まった。



すかわら かいご 菅原 圭子 議員(新世会)